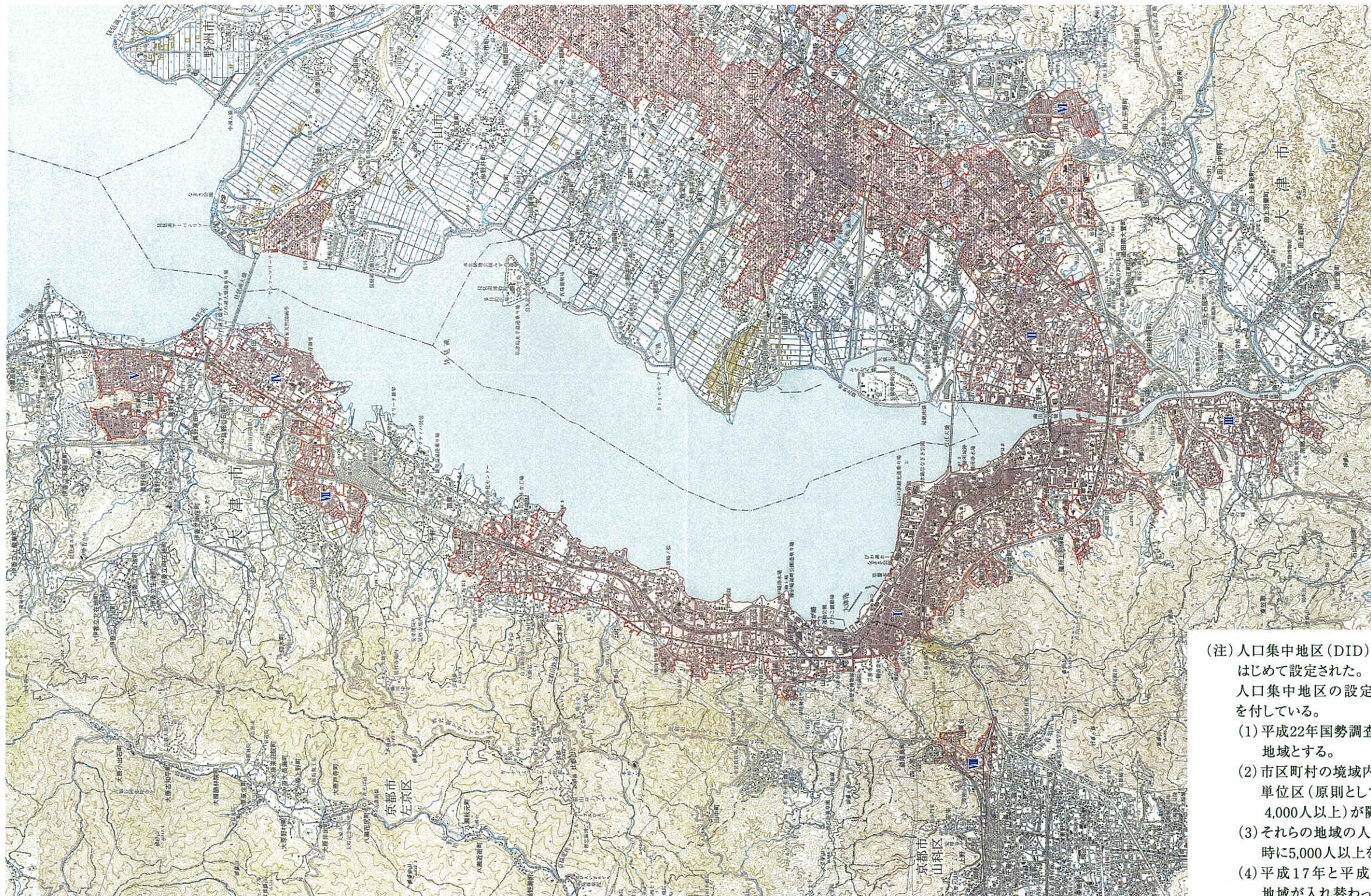


### 3 大津市の人口集中地区(DID)



(注)人口集中地区(DID)は昭和35年国勢調査ではじめて設定された。  
 人口集中地区の設定にあたっては次の条件を付している。  
 (1)平成22年国勢調査基本単位区を基礎単位地域とする。  
 (2)市区町村の境域内で人口密度の高い基本単位区(原則として人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4,000人以上)が隣接していること。  
 (3)それらの地域の人口が平成22年国勢調査時に5,000人以上を有すること。  
 (4)平成17年と平成22年においてⅥとⅦの地域が入れ替わっている。

<上図平成22年内訳>

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	密度(1km <sup>2</sup> 当たり)	対17年人口増加率(%)	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	密度(1km <sup>2</sup> 当たり)	対17年人口増加率(%)
計 262,946	37.68	6,978.4	5.2	V 12,437	1.62	7,677.2	△ 1.5
I 136,520	20.48	6,666.0	5.3	VI 7,527	0.79	9,527.8	31.4
II 56,260	7.33	7,675.3	8.4	VII 7,123	1.08	6,595.4	△ 4.2
III 19,325	2.94	6,573.1	△ 6.1	VIII 5,093	0.67	7,601.5	0.8
IV 18,661	2.77	6,736.8	9.5				

<人口集中地区暦年比較>

区分	人口(人)	集中地区人口(人)	集中地区面積(km <sup>2</sup> )
昭和 50年	201,599	124,637	19.20
55年	228,982	159,678	28.10
60年	250,715	172,400	29.00
平成 2年	277,290	188,784	32.20
7年	295,574	217,578	33.90
12年	309,793	232,186	35.44
17年	323,719	249,970	37.04
22年	337,634	262,946	37.68

平成22年国勢調査「我が国の人口集中地区」による